

平成 26 年度 第 1 回 川西町地域公共交通会議

議 事 要 旨

日 時 : 平成 26 年 6 月 26 日 (木)

14:00~15:00

場 所 : 川西町役場 2 階 202 会議室

出席者 : 森田政美委員長、上原大洋副委員長、松本雅司委員
福嶋博委員 (代理: 西川裕子)、川邊経恭委員 (代理: 刀谷茂樹)
葛本真委員、西本光良委員、大西秀樹委員 (代理: 松石康志)
吉村伸泰委員、吉村真知子委員、山本勝委員 (代理: 稲留健一郎)
村上強志委員 (代理: 曾田和弘)、多山元章委員 (代理: 山西雅志)

<議事次第>

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 地域公共交通会議委員の交代
4. 議題
 - (1) 平成 25 年度決算報告について
 - (2) 平成 26 年度予算 (案) について
 - (3) 川西町コミュニティバス利用状況について
 - (4) 川西町コミュニティバスのルート・ダイヤ変更及び有料化について
 - (5) 今後のスケジュール
 - (6) その他
5. 閉会

<配布資料>

- ・ 次第 (本資料)
- ・ 資料-1 川西町地域公共交通会議 委員名簿
- ・ 資料-2 平成 25 年度収支報告書
- ・ 資料-3 平成 26 年度川西町地域公共交通会議歳入歳出予算書 (案)
- ・ 資料-4 「川西こすもす号」利用状況
- ・ 資料-5 「川西こすもす号」新路線図・時刻表概要
- ・ 資料-6 「川西こすもす号」有償運行について
- ・ 資料-7 川西町地域公共交通会議 平成 26 年度スケジュール (案)
- ・ 資料-8 第 2 回 川西町公共交通会議議事要旨
- ・ その他 平成 26・27 年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書

<議事要旨>

○議題1：平成25年度決算報告について
（事務局から、資料-2 について説明）
（会計監査報告）

※拍手多数により内容承認

○議題2：平成26年度予算（案）について
（事務局から、資料-3 について説明）

※拍手多数により内容承認

○議題3：川西町コミュニティバス利用状況について
（事務局から、資料-4 について説明）

※意見無し

○議題4：川西町コミュニティバスのルート・ダイヤ変更及び有料化について
（事務局から、資料-5、6 について説明）

吉村眞委員：7月から有料化されるとのことだが、スーパーおくやまの特売日などは特に乗客が多いと思うが、特売日のために乗っているのに、往復200円出すというところに抵抗があるのではないか。何か特典などのメリットは考えられないだろうか。例えば国保病院まで行く便を運行するなどの対応はできないか。

事務局：メリットの話については、事務局でも検討している。今、おくやまにも割引等の対応が可能かどうかを打診している。ただし、町外までの延伸については、考えていない。

森田委員長：今回のルート・ダイヤの変更は、アンケートの結果に基づくものか。

事務局：もっと早い時間、あるいは遅い時間に運行してほしいという意見もあったが、現在、高齢者の利用が多く、病院へのアクセスなど、高齢者の利便性に着目して改善を図ったものである。

上原副委員長：例えば保田線の下り（1、3、5、7便）便は、役場が終点となっているが、各バスの行き先を周知する必要があるのではないか。

事務局：バス停の時刻表に、行き先を明記する予定である。

森田委員長：おくやまの開店は何時からか。保田へ帰るのは、偶数便に乗ることになるのか。

事務局：9:30からである。保田へ帰るのは、偶数便となる。買い物の時間として、1時間程度を考慮している。

曾田委員：地域公共交通計画を策定する際に、目標値を設定していると思うが、有料化後の目標の設定はあるのか。

事務局：収入見込みの算定の際に、これまでの利用実績の3割減で見込んでいるという説明をした。そういった意味で、1日当たりの利用客数が、35.2人を下回らないというのが、一つの目標であるが、どれくらい減少するかは、見えないところもある。

曾田委員：一定の目標を定めた方が、見直しもしやすいと思うので、検討してほしい。

吉村伸委員：今後、少しでも町負担を軽減するという意味でも、広告で収入を得るというのも一つの方法かと思う。ラッピングバスなどを検討してはどうか。

事務局：現在、バスの車体に3箇所程度、広告を載せることを検討している。秋頃から始める方向で検討中である。

大西委員：有料化に関する住民への周知はどうするのか。

事務局：7月1日に配布する広報誌に掲載する予定である。新しい路線図・時刻表も、一緒に配布する。町のHPにも掲載予定である。

森田委員長：無償での運行はないのか。

事務局：7/9（水）～7/11（木）は、無償で運行する。

稲留委員：今年度の予算をみても、町の負担が非常に大きいと感じる。100円の料金では、黒字になることはないが、誰も乗っていないバスに町がお金を出していることには理解が得られにくい。利用促進に対して、委員の皆様にもご協力をお願いしたい。

○議題5：今後のスケジュールについて
（事務局から、資料-7について説明）

※意見無し

○議題6：その他について
（事務局から「地域内フィーダー系統確保維持計画」について説明）

稲留委員：少し補足すると、表1の最下段にある金額が、補助金の見込み額である。赤字額の半分に対して国から補助が出るということである。

上原委員：収支計算書は、年度での計算とならないのか。

事務局：申請書の決まりなので、それはできない。

○閉会

以上